

町内会で深まる 地域のきずな

私たちの暮らしに寄り添う大切な存在、町内会。

しかし、市の町内会に関する意識調査(平成27年度)によると、町内会に対して「参加するきっかけがない」「どんな活動をしているのか分からない」といった考えを持っている方が少なからずいることが明らかになっています。そこで今回の特集では、町内会の活動や、それに携わる方の声を紹介。町内会についてあらためて考えていきます。

問い合わせ 市民自治推進課 ☎211-2253



町内会の 現状

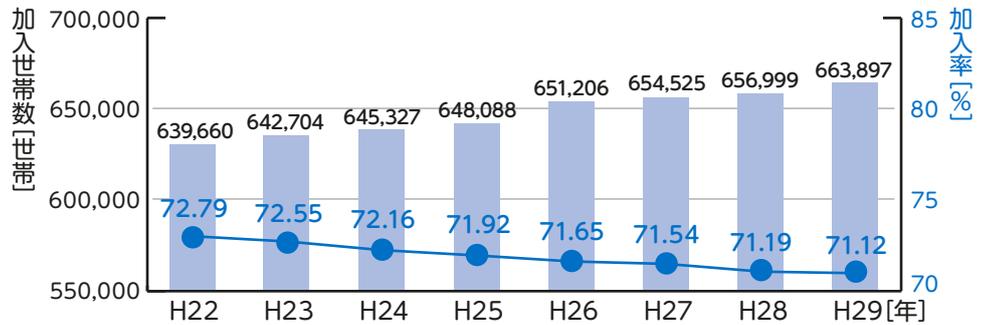
地域を住みよい場所にするために活動しています

町内会は、「自分たちが住む地域を自分たちで良くしていこう」と考える人たちの集まり。「自治会」や「管理組合」という名称としているところもあり、その広さや加入戸数はさまざまです。

加入する世帯の割合が毎年少しずつ減っています

各町内会が取り組む加入促進の活動により、町内会に入る世帯の数は年々増えています。しかし、世帯数全体から見た加入率は減少傾向に。人口の増加や、昔と比べて生活基盤が整ったため、助けが必要な場面が減ったことなどが原因として考えられています。

■町内会・自治会への加入世帯・加入率の推移(平成29年1月1日現在)



防犯・防災

パトロールや街路灯の管理、地域での防災訓練など



清掃・美化

ごみステーションの管理、ごみ拾い、花植えなど

暮らしの 身近な ところに 「町内会」

活動の一例

夜道を照らす街路灯の管理や、親子が集まる地域の子育てサロン、子どもたちの安全を守るパトロールなど、町内会では個人や家族だけではできない、さまざまな活動を行っています。



親睦・交流

お祭りやスポーツ大会、運動会の開催など



見守り

通学路の見守り、子育てサロン、独居者への声掛けなど

町内会の活動に参加すると
こんな良いことも!

- ◎ご近所同士、顔見知りになるきっかけができる
- ◎回覧板などで地域の情報が手に入りやすくなる
- ◎災害時など、いざというときの避難場所や備蓄品を確認し合える

地域ごとにいろいろな活動をしている町内会。次は実際の活動事例を見ていきます

ケース
1

次世代の町内会の担い手とともにつくる 町内会の明るい未来

白石区 共栄第三町内会



◀意見交換会では若い世代の意見も積極的に取り入れられ、恒例行事となっていた焼肉パーティー(写真上)に代えて「サマーフェスタ」を7月に初開催！

いわぶち きよのぶ
会長 岩瀬 清宣さん

人、つなぐ 内会

ある町内会では、
をこらした
を行っています。
一部を紹介！



活動協力員として
町内会活動に携わる
さかきばら なおき
榊原 直樹さん

協力員となったのは、会長からの「災害が起きたときなどに支援をしてほしい」という声掛けがきっかけで、自分たちも積極的に町内会活動に参加していかなければならないと思ったからです。活動するうちに、自分たちが住む地域への思いが強くなりましたね。今は、引っ越してきた方に率先して声を掛け、顔見知りの関係が築けるようにするなど、小さなことから行動に移しています。これからも、何かあったときに助け合える、あたたかい地域をつくらしていきたいですね。

共栄第三町内会では、役員の仕事をサポートし、将来は町内会の中心となって活躍してもらおう「活動協力員」という仕組みを設けています。若い世代を中心に「仕事と家庭を第一に、できる範囲で構わないので、知恵や力を貸してほしい」と声を掛け、今では40代を中心に男女合わせて31人が協力員として活動中です。皆さん、もともと「自分たちの地域を守り育てたい」という思いを持っていたようです。このような取り組みが、ほかの町内会にも広がっていくとうれしいですね。

電話やインターネットで加入希望を伝えてみよう！

電話で

最寄りのまちづくりセンターや
お住まいの区役所(1階)地域振
興課へ電話をします

札幌 まちづくりセンター **検索**

後日、町内会から連絡がきます



インターネットで

住所を入力して自分の町内会
を検索できるサイト「マチトモ
Navi」を開きます

マチトモ **検索**

必要事項を入力・送信します

後日、町内会から連絡がきます



※この手続きは、町内会への加入の意思を伝えるものであり、正式に加入するための手続きなどは町内会により異なります

ケース
2

一緒に活動して感じた町内会のあたたかさ

豊平区 きよくすい 旭水町内会

私たちのサークルでは、年に6回ある町内会の催しのお手伝いをしています。子ども向けの企画を任されていて、縁日やお正月など毎回違うテーマで準備する飾りと遊びは大好評。地域の人が軽食を振る舞うコーナーには、幅広い世代の人が集まってにぎわうので、輪に入りやすくいろいろな話が聞けて楽しいですよ。ぜひ一度、来てみてください。



北海学園大学学生サークルで町内会との活動を担当する
むらやま みさき
村山 美咲さん



▲折り紙やかたなど、遊びには子どもの希望も取り入れている
▶参加者との会話が地域のことを知るきっかけに

人と地域を町

市内に約2,200
それぞれ工夫
イベントや取り組み
ここではその

ケース
3

幅広い世代に防災の取り組みを知ってもらいたい

中央区 宮の森大倉山連合町内会



宮の森大倉山連合町内会で防災フェスティバルに携わる
わたなべ くにひこ
渡辺 邦彦さん

地域の防災の取り組みをもっと知ってもらうため、近隣の小中学校と連携し、防災訓練と子どもたちの活動発表の場が一つになった、防災フェスティバルを毎年行っています。この企画のポイントは、発表会に出る子を見に来た友達や親が、自然と防災について考えられるようになっているところ。参加した方からは「AED（自動体外式除細動器）の使い方が勉強になった」などの声が寄せられていますよ。



▲人命救助や土砂災害対策などの訓練は、さまざまな場面を想定し実施

防災フェスティバルは合唱や吹奏楽の練習の成果を発表する一大イベント▼



自分たちの手で住みよい街に



今後、人口減少や少子高齢化の進行が予想される札幌。地域の防災・防犯の取り組みや子どもたちが健やかに育つ環境づくりは、行政や家族の力だけでは限りがあります。そんなときに大切なのが、日々の暮らしやもしものときに支え合える地域の絆「町内会」。まずはできることから始めて、近所とのつながりを広げてみませんか。

あきもと かつひろ
札幌市長 **秋元 克広**

町内会活動が分かるリーフレットを配布しています

町内会活動の内容や加入方法などを紹介したリーフレットです。配布に協力してくれる方には必要部数をお渡ししています。気軽に市民自治推進課 ☎211-2253へお問い合わせを。



配布場所 区役所、市役所
13階市民自治推進課など

マチトモ 市は、町内会活動の魅力、このロゴとともに発信する取り組みを行っています